平成２６年度第４４回関東中学校大会視察レポート（技術）

報告：上尾市立上尾中学校　並木　友広

平成２６年８月８日（金）～１０日（月）

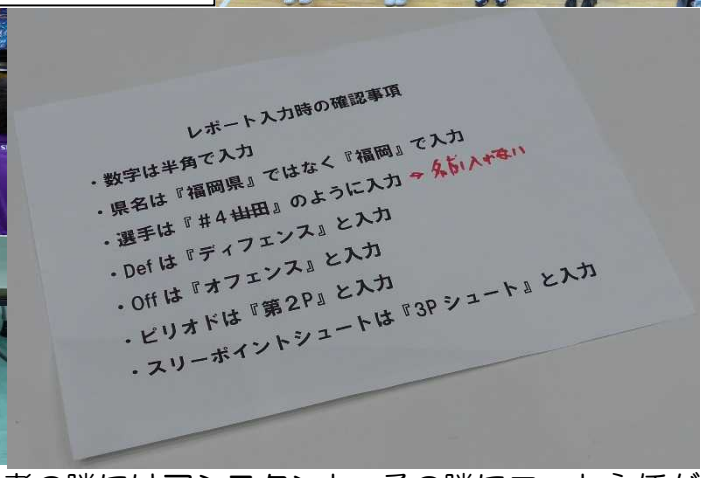
大田区総合体育館・大森スポーツセンター



大田区総合体育館での開会式の様子。入場行進ではなく、学校名が呼ばれて返事をしてその場に立つ形で出場チームの紹介がされた。出場チームの中で一番大きな返事をしていたのは埼玉代表の所沢山口中だった。







コートサイドの選評席の様子。選評記入者の隣にはアシスタント、その隣にコート主任が座る。選評レポートの入力マニュアルもテーブルに置いてあり、統一された形式での選評レポートが作成できるように工夫されていた。その日のうちに特設サイトにアップされていたので、参考にしたい。

技術的な視点から関東大会を見て、当たり前であるが、勝ち上がるチームはターンオーバーが少なく、特にアウトサイドのシュート成功率が高い。男子はどのチームにも得点力の高いエースプレイヤーがいて、大事な局面ではボールを集め、確実に得点していた。また、高身長のプレイヤーも多かったが、インサイドでのプレイだけでなく、オールラウンドにプレイできる選手が多かった。

女子は優勝した所沢山口中の安定感が光っていた。オフェンスでは、ノーマークのミドルシュートやゴール下のシュートを確実に決めていた。リバウンドやルーズボールを多く支配していたし、ターンオーバーもほとんど見られなかった。ディフェンスは男女ともによく足が動き、手を使ったファウルが少なかった。ボールを奪ったあとの攻撃への切り替えが早いチームが多かった。